

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2012年9月19日

宮城県仙台市「岡田児童館」

プログラム「声をはこぶ」



布地を巻き付けてある長い紙筒に絵を描いてカラー布ガムテープでつなげる、そうして端っこ同志で「もしもし」すると、あ～ら不思議、姿は見えないけれど声がこんなにも近く聞こえます。そんなワークショップを楽しんだのは、岡田児童館の子どもたち。白く塗った紙筒にポストカやマジック、クレヨンなどを使って思い思いの作品を仕上げてゆきます。迎えに来たおかあさんと、長い長い筒のあっちとこっちで内緒の会話を楽しんだ男の子。子どもたちの満足が、スタッフの幸せであります。みんなで作ったこの“声をはこぶ紙筒”で、しばらく楽しんでいただけたら、もちろん大満足なのであります。

